



2025年9月期 第1四半期 連結決算 説明資料

2025年2月14日

株式会社くふうカンパニーホールディングス



目次

1. 2025年9月期 第1四半期 連結業績

2. 各事業セグメントの概況

- 毎日の暮らし事業
- ライフイベント事業



1. 2025年9月期 第1四半期 連結業績

- 毎日の暮らし事業を中心としたグループの構築に向けて、組織再編を推進

毎日の暮らし事業

- くふうカンパニー

- ✓ 2024年11月1日付で くふう AI スタジオ が RETRIP を吸収合併
- ✓ 2025年1月1日付で ロコガイド と くふう AI スタジオ を統合し、「株式会社くふうカンパニー」に商号変更
(2024年12月31日付で 持株会社は「株式会社くふうカンパニーホールディングス」に商号変更)

ライフイベント事業

- くふう住まいコンサルティング
- くふう住まい
- くふうウェディング

投資・インキュベーション事業

- くふうしずおか
- キッズスター
- ゴールドエッグス
- Seven Signatures International (SSI)
- くふうキャピタル
- くふうカンパニーホールディングス (投資事業)

- 売上高は 3,454百万円（前年同期比 105.8%）、営業利益は 63百万円（前年同期は ▲117百万円）、EBITDA は 346百万円（前年同期比 256.8%）で着地

各事業の進捗

毎日の暮らし事業	<ul style="list-style-type: none">グループ内取引の縮小により売上高規模は減少しているものの、主力事業であるトクバイ事業は底打ち感が見え、前年同期水準に回復。事業の統廃合やコスト削減の効果が徐々に顕在化。
ライフイベント事業	<p>住まい領域</p> <ul style="list-style-type: none">くふう住まいコンサルティングは工務店からのロイヤリティ収入等が前年同期比で増加、受注も堅調。前期は自社施工事業の納期遅延による下期偏重、不採算事業の整理等もあり今期は堅調な滑り出し。くふう住まいの営業利益は大型仲介案件など複数の特殊要因が発生した前年同期に比べて減少、イエタテ事業の出店強化に伴い費用発生が先行（Q1は2店舗を出店、前年同期末から7店舗増加し合計13店舗に）。 <p>結婚領域</p> <ul style="list-style-type: none">メディア事業の市場環境は引き続き厳しいが、式場向けサービスの拡充により売上高は前年同期比で増加。結婚式プロデュース事業は施行件数・受注がともに堅調に推移し、領域での黒字が安定化。
投資・インキュベーション事業	<ul style="list-style-type: none">SSIやキッズスターが業績に寄与、その他構成する各グループ会社の業績も堅調に推移。

- 売上高は 3,454百万円（前年同期比 105.8%）、通期業績予想に対する進捗率は 24.7%

	24/9期	25/9期			
	Q1	Q1※	前年同期比	通期予想	進捗率
売上高	3,263	3,454	105.8%	14,000	24.7%
毎日の暮らし事業	772	715	92.5%	-	-
ライフイベント事業	2,150	2,007	93.3%	-	-
投資・インキュベーション事業	426	763	179.1%	-	-
調整額	▲86	▲31	-	-	-

（単位：百万円）

※ 2024年11月1日付で (株)くふうAIスタジオ が投資・インキュベーション事業を構成していた (株)RETRIP を吸収合併。

連結業績 営業利益^{※1}・EBITDA

- 営業利益は 63百万円（前年同期は ▲117百万円）、通期業績予想に対する進捗率は 12.7%
- EBITDA は 346百万円（前年同期比 256.8%）、通期業績予想に対する進捗率は 21.7%

	24/9期	25/9期			
	Q1	Q1 ^{※2}	前年同期比	通期予想	進捗率
営業利益	▲117	63	-	500	12.7%
毎日の暮らし事業	191	146	76.3%	-	-
ライフイベント事業	31	174	559.4%	-	-
投資・インキュベーション事業	▲48	109	-	-	-
調整額	▲291	▲366	-	-	-
EBITDA	134	346	256.8%	1,600	21.7%

(単位：百万円)

※1：2025年9月期より本社費用の配分方法を見直したことに伴い、各セグメント利益の計上方法を一部変更。2024年9月期は遡及修正後の数値を反映。

※2：2024年11月1日付で(株)くふうAIスタジオが投資・インキュベーション事業を構成していた(株)RETRIPを吸収合併。

- 当第1四半期は前年同期比で増収、営業利益は黒字で着地

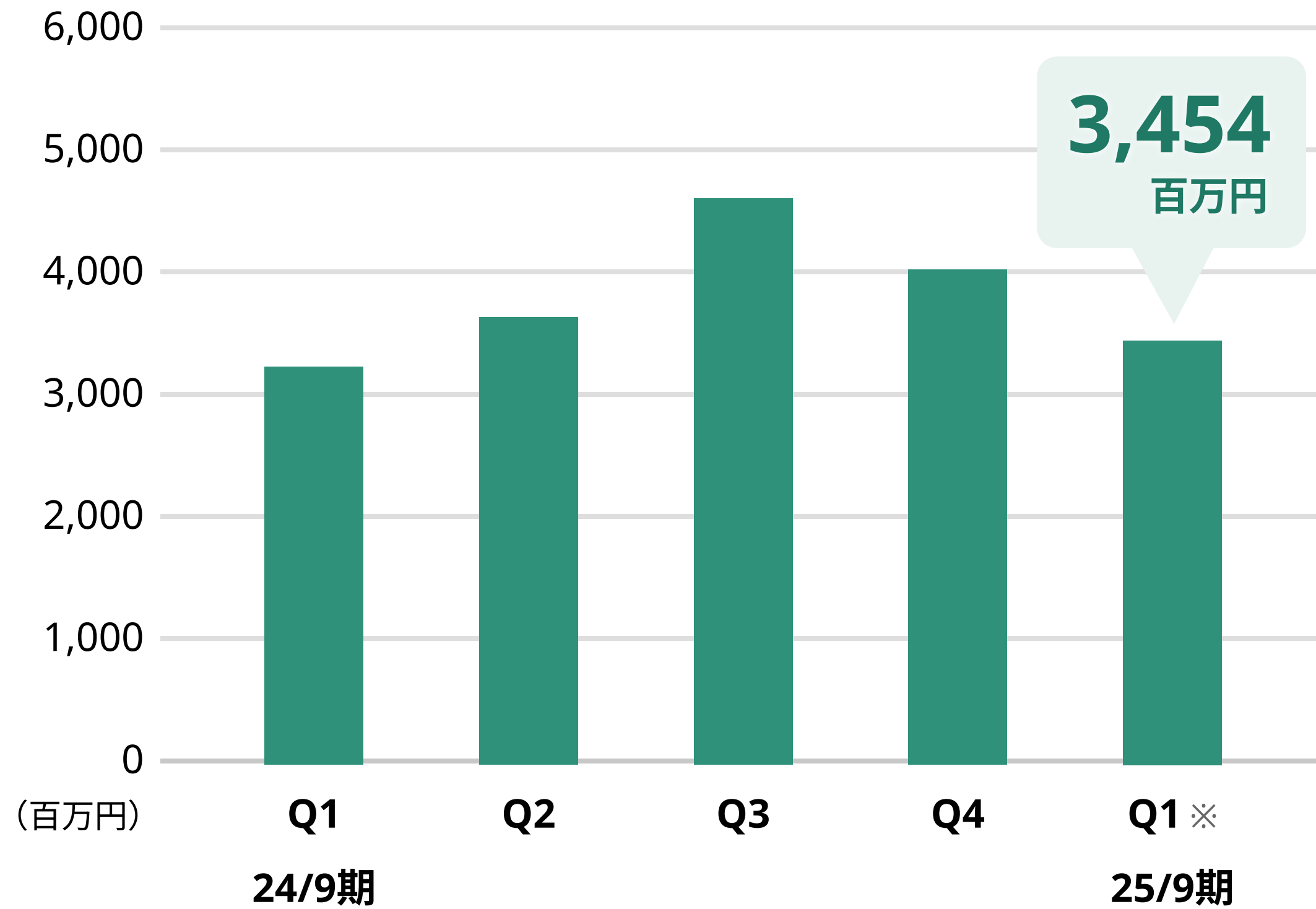
	24/9期				25/9期		
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1※	前年同期比	前四半期比
売上高	3,263	3,627	4,623	4,028	3,454	105.8%	85.7%
営業利益	▲117	▲47	507	288	63	-	22.1%
EBITDA	134	219	779	571	346	256.8%	60.6%

(単位：百万円)

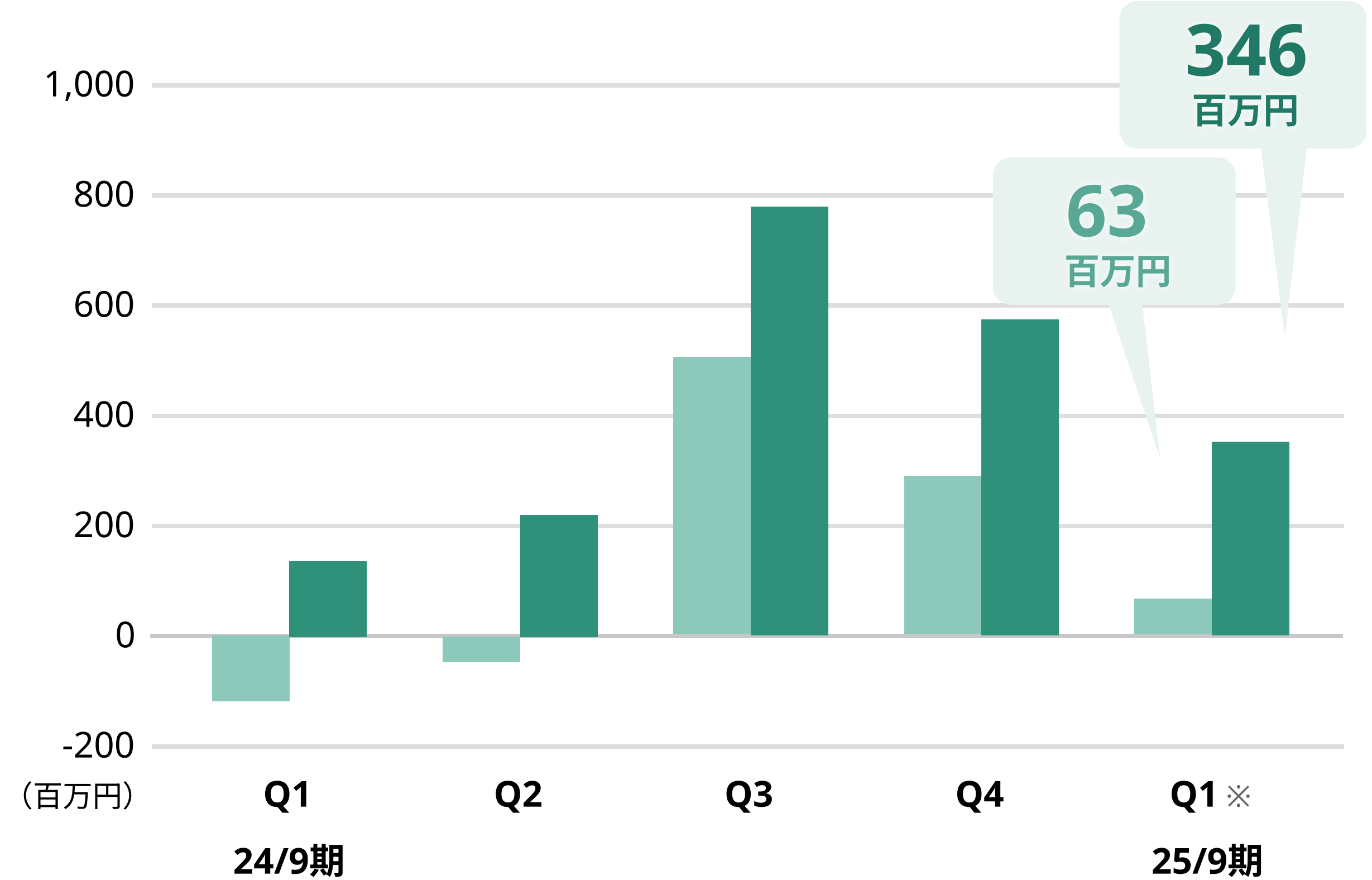
※ 2024年11月1日付で (株)くふうAIスタジオ が投資・インキュベーション事業を構成していた (株)RETRIP を吸収合併。

- 当第1四半期は前年同期比で増収、営業利益は黒字で着地

売上高



営業利益 EBITDA



※ 2024年11月1日付で (株)くふうAIスタジオ が投資・インキュベーション事業を構成していた (株)RETRIP を吸収合併。

連結業績 セグメント別 売上高（四半期）

- ・ 毎日の暮らし事業はグループ内取引が減少した一方、トクバイ事業は店舗課金が前年同期の水準に回復
- ・ ライフイベント事業は前期の住まい領域における不採算事業整理の影響がある一方、主力事業は堅調に推移

		24/9期				25/9期		
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1 ※	前年同期比	前四半期比
売上高	毎日の暮らし事業	772	764	759	731	715	92.5%	97.7%
	ライフイベント事業	2,150	2,320	2,184	2,492	2,007	93.3%	80.5%
	投資・インキュベーション事業	426	625	1,752	862	763	179.1%	88.6%
	調整額	▲86	▲82	▲72	▲57	▲31	-	-
合計		3,263	3,627	4,623	4,028	3,454	105.8%	85.7%

(単位：百万円)

※ 2024年11月1日付で(株)くふうAIスタジオが投資・インキュベーション事業を構成していた(株)RETRIPを吸収合併。

連結業績 セグメント別 営業利益（四半期）^{※1}

- 毎日の暮らし事業は事業の統廃合やコスト削減の効果が徐々に顕在化
- ライフイベント事業は住まい領域における不採算事業の整理や相談カウンターの出店強化によって、安定的な利益創出の基盤が整ってきている

		24/9期				25/9期		
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1 ^{※2}	前年同期比	前四半期比
営業利益	毎日の暮らし事業	191	210	172	139	146	76.3%	104.5%
	ライフイベント事業	31	103	254	371	174	559.4%	47.0%
	投資・インキュベーション事業	▲48	▲2	470	143	109	-	76.1%
	調整額	▲291	▲357	▲389	▲366	▲366	-	-
	合計	▲117	▲47	507	288	63	-	22.1%

(単位：百万円)

※1：2025年9月期より本社費用の配分方法を見直したことに伴い、各セグメント利益の計上方法を一部変更。2024年9月期は遡及修正後の数値を反映。

※2：2024年11月1日付で(株)くふうAIスタジオが投資・インキュベーション事業を構成していた(株)RETRIPを吸収合併。

	2024年9月末	2024年12月末	増減額	増減要因
流動資産	12,805	12,367	▲437	・現金及び預金は、借入金の返済や営業投資有価証券の増加等により580百万円減少
（現金及び預金）	7,505	6,925	▲580	
（営業投資有価証券）	1,691	1,961	269	
（販売用不動産）	1,483	1,392	▲90	
固定資産	6,055	6,005	▲50	
（のれん）	3,459	3,288	▲170	
（投資その他の資産）	1,107	1,117	9	
資産	18,875	18,386	▲489	
負債	6,705	6,337	▲368	・短期借入金及び長期借入金は、返済により276百万円減少
（短期借入金及び長期借入金）	3,555	3,278	▲276	
純資産	12,169	12,049	▲120	
（資本金）	30	30	0	
（資本剰余金）	8,635	8,625	▲9	
（利益剰余金）	2,047	1,968	▲78	
（自己株式）	▲32	▲32	▲0	
（その他有価証券評価差額金）	30	▲62	▲93	
（非支配株主持分）	1,451	1,500	49	
負債及び純資産	18,875	18,386	▲489	

（単位：百万円）

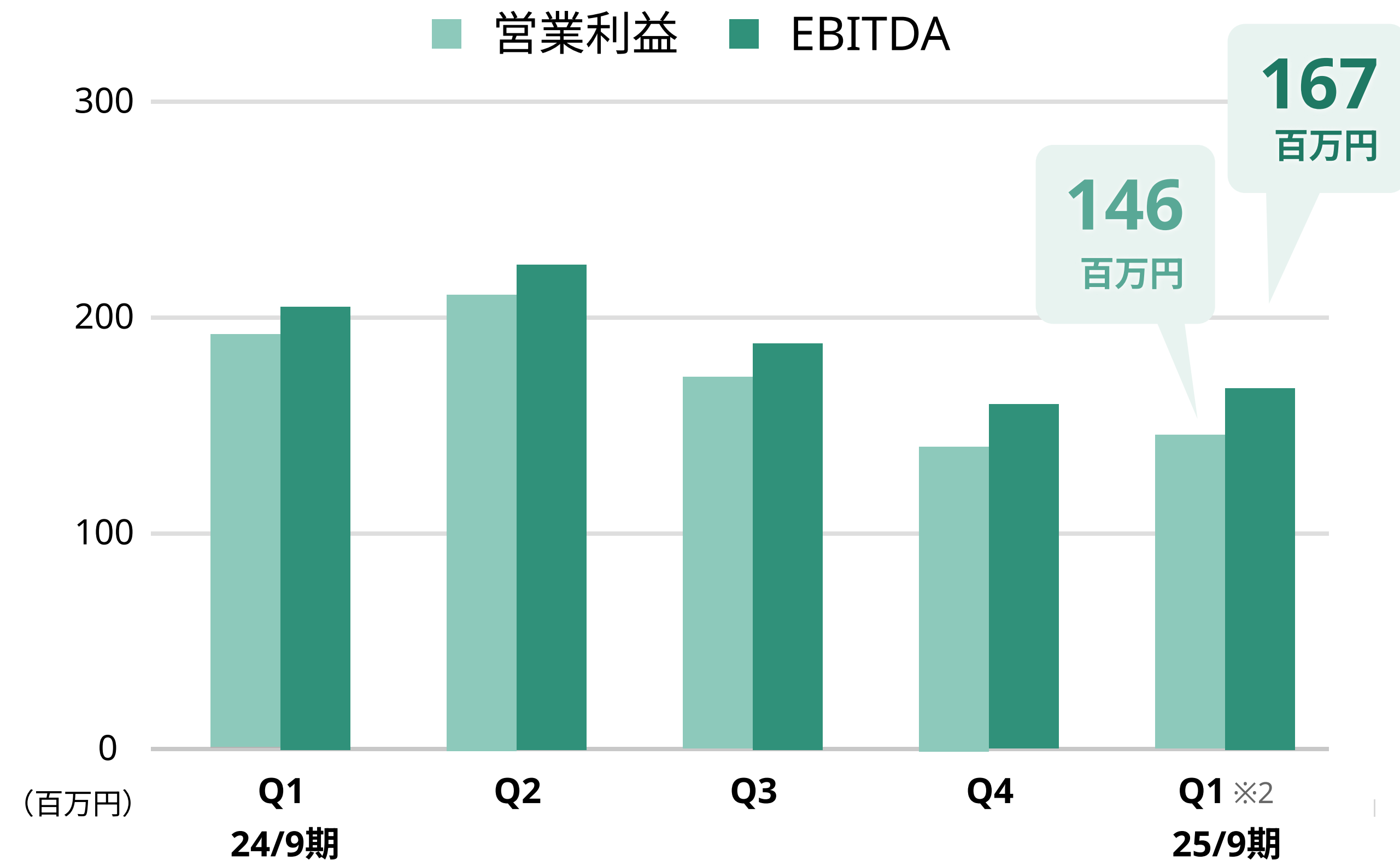
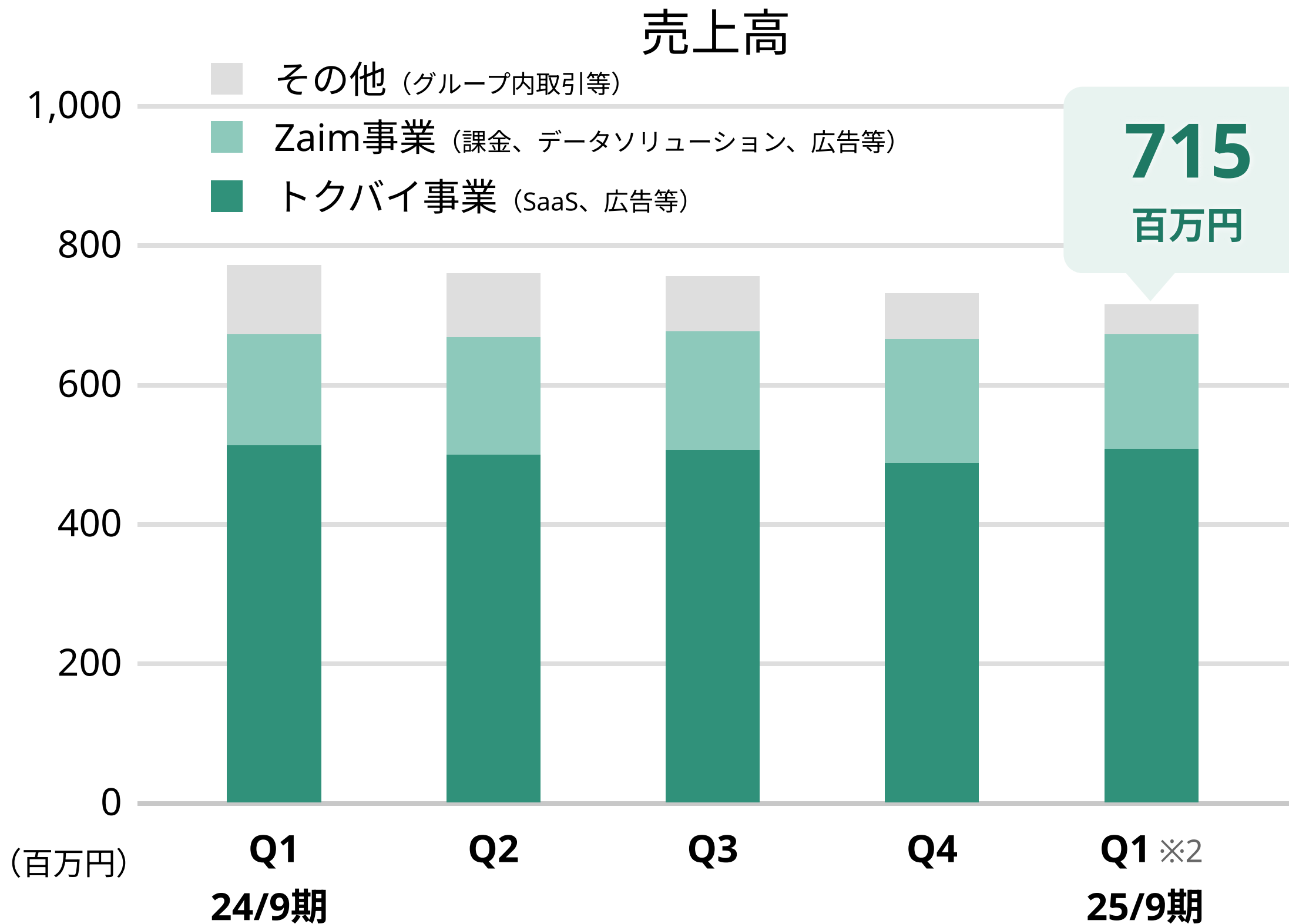
2. 各事業セグメントの概況

毎日の暮らし事業



毎日の暮らし事業 業績 四半期推移 ※1

- グループ内取引の縮小により売上高規模は減少しているものの、主力事業であるトクバイ事業は底打ち感が見え、前年同期水準に回復
- 事業の統廃合やコスト削減の効果が徐々に顕在化



※1：2025年9月期より本社費用の配分方法を見直したことに伴い、各セグメント利益の計上方法を一部変更。2024年9月期は遡及修正後の数値を反映。

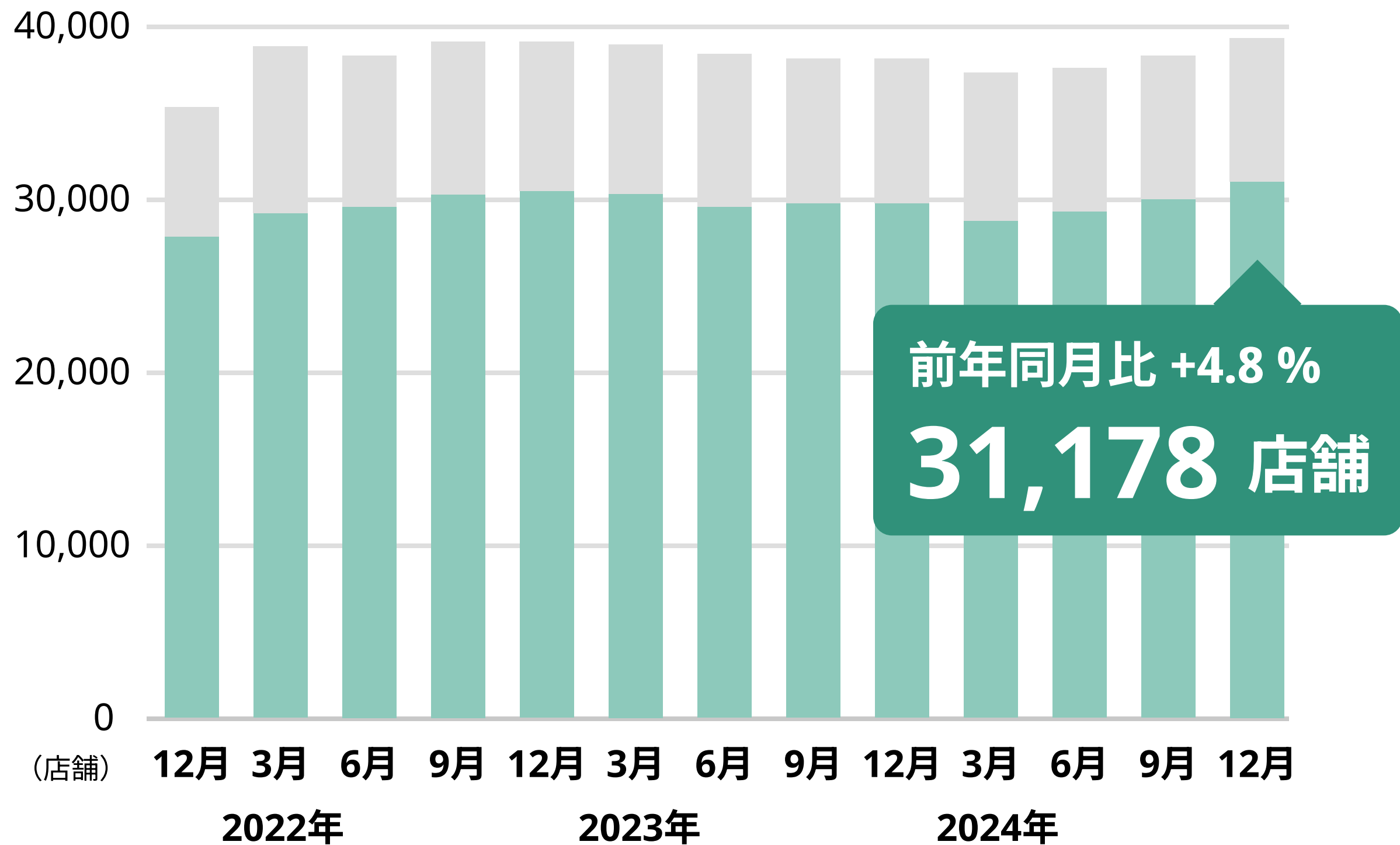
※2：2024年11月1日付で(株)くふうAIスタジオが投資・インキュベーション事業を構成していた(株)RETRIPを吸収合併。

トクバイサービス有料掲載店舗数と平均単価の推移※

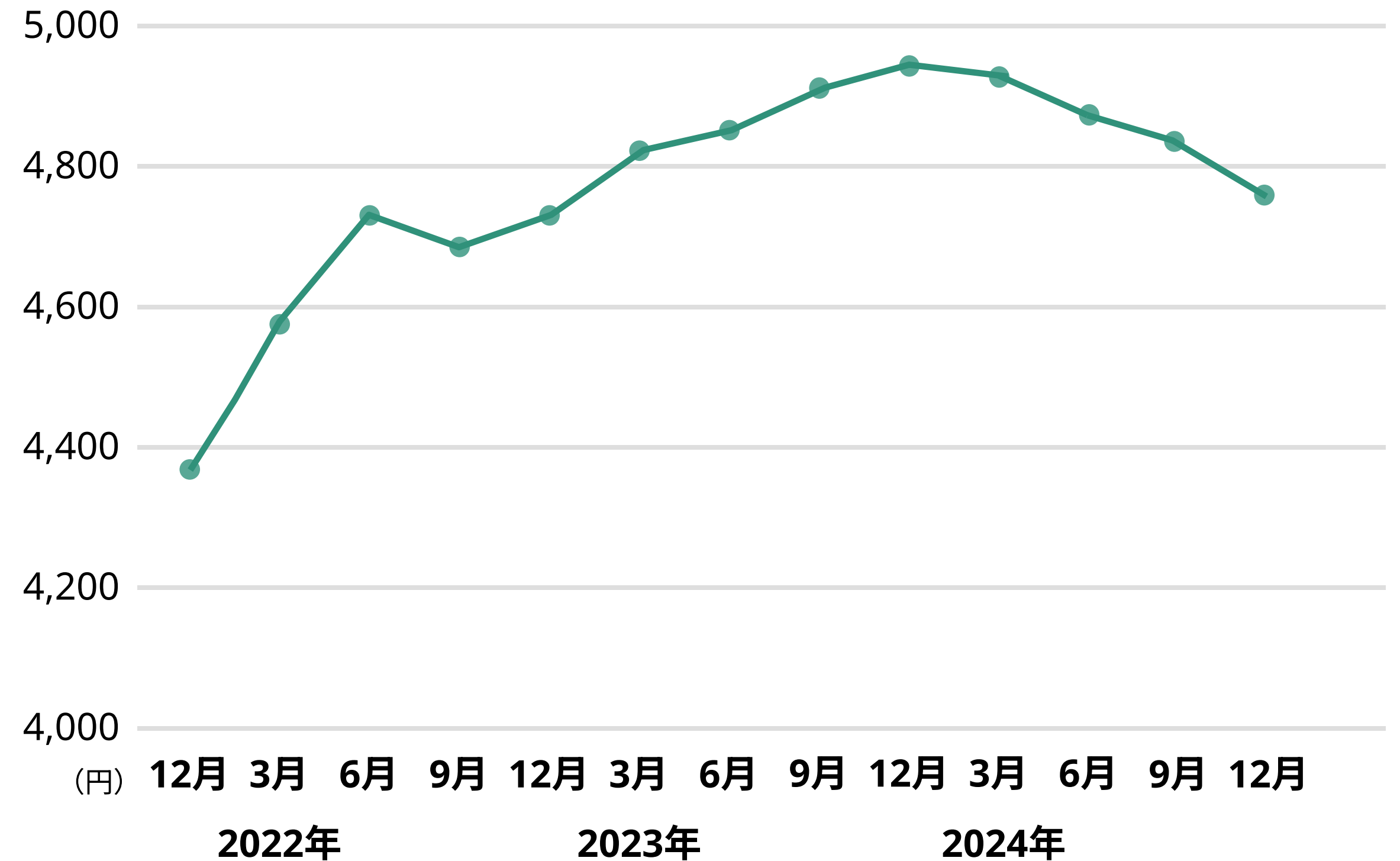
- 2024年12月末時点の有料掲載店舗数は 39,465店舗（定額課金店舗数は前年同月比 +4.8% の 31,178店舗）
- 新業態拡大に向けた営業強化やサービス提供方法の多様化等を通じて掲載店舗数の拡大を目指す

有料掲載店舗数の推移

■ 定額課金店舗 ■ 成果報酬店舗



定額課金店舗の平均単価の推移

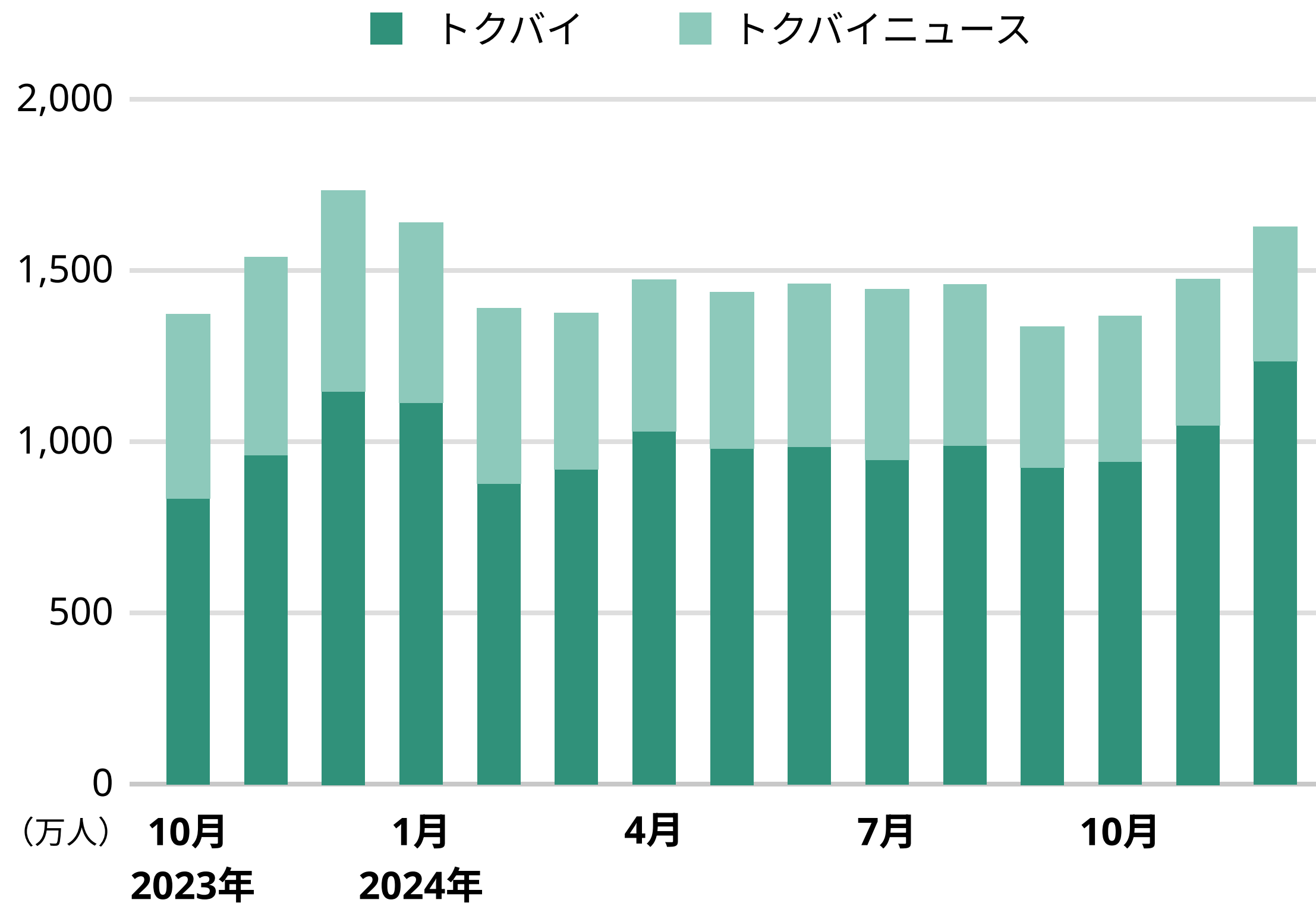


※ 定額課金店舗の店舗数及び平均単価において、コンビニエンスストア約 16,000 店舗との取り組みについては不算入。

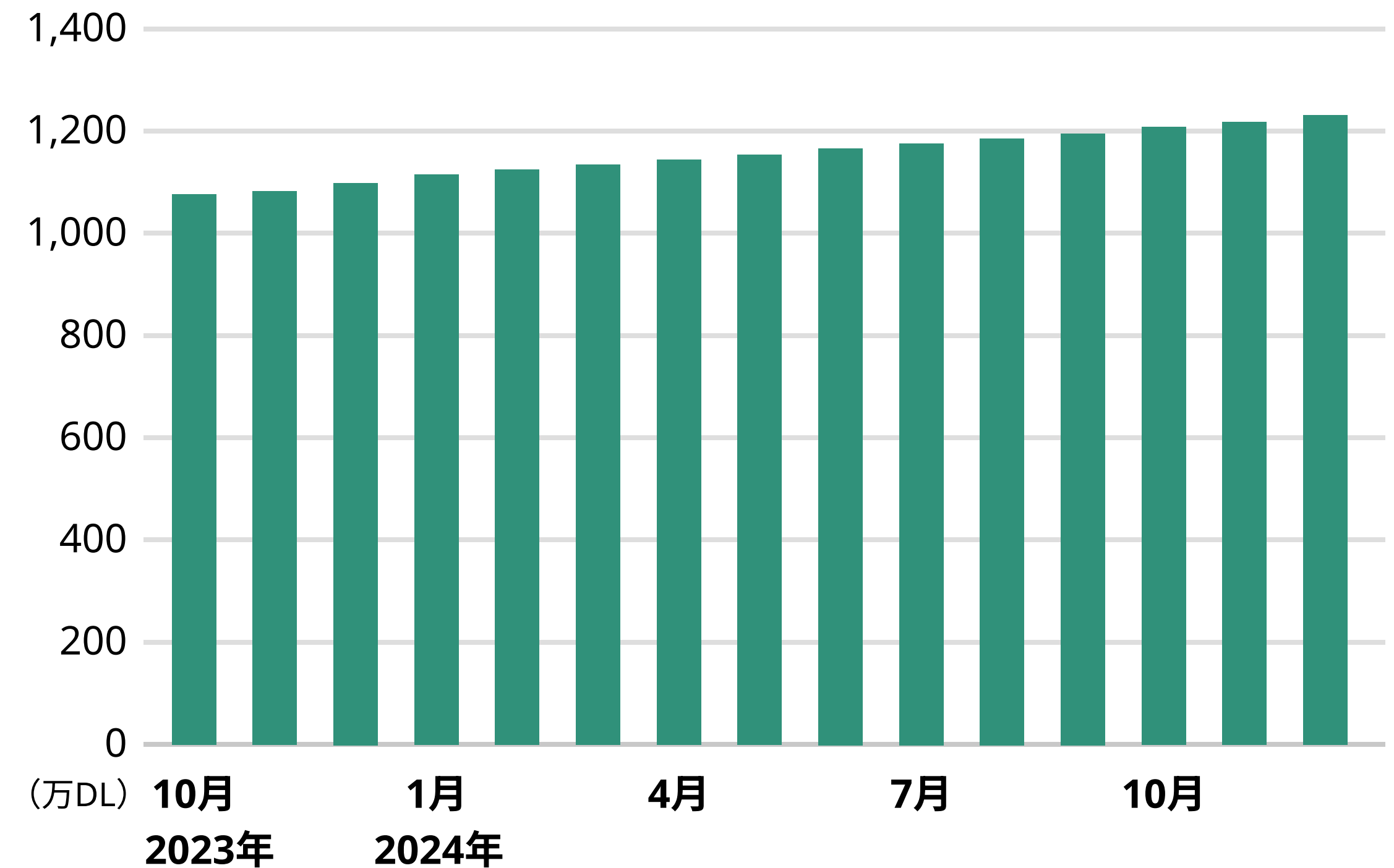
トクバイサービス月間利用者数とアプリDL数の推移

- 2024年12月末時点のトクバイサービス月間利用者数は約1,600万人、累計アプリDL数は約1,200万

月間利用者数



アプリDL数 (累計)

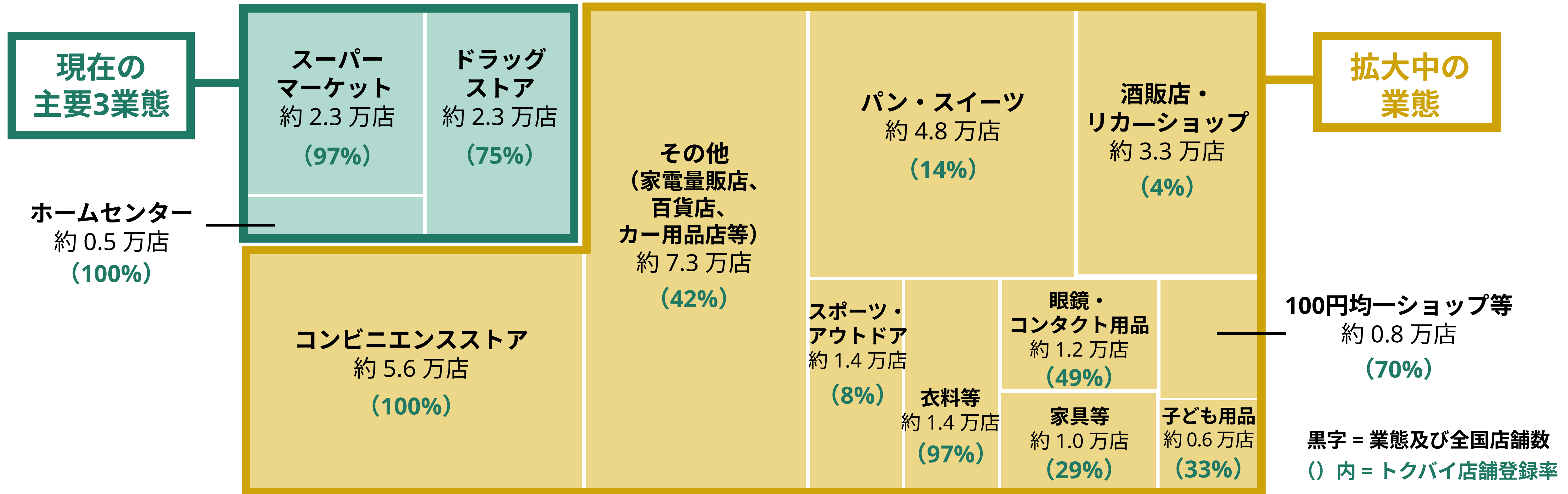


小売の情報掲載業態の拡大に注力

- ユーザーの多様な買い物シーンをサポートしていくとともに、各小売業態の販促支援を強化していく

小売における注力業態（約25業態）の市場合計：約 33 万店 ※

2024年12月末時点のトクバイ登録店舗数：約 17 万店（登録率53%）



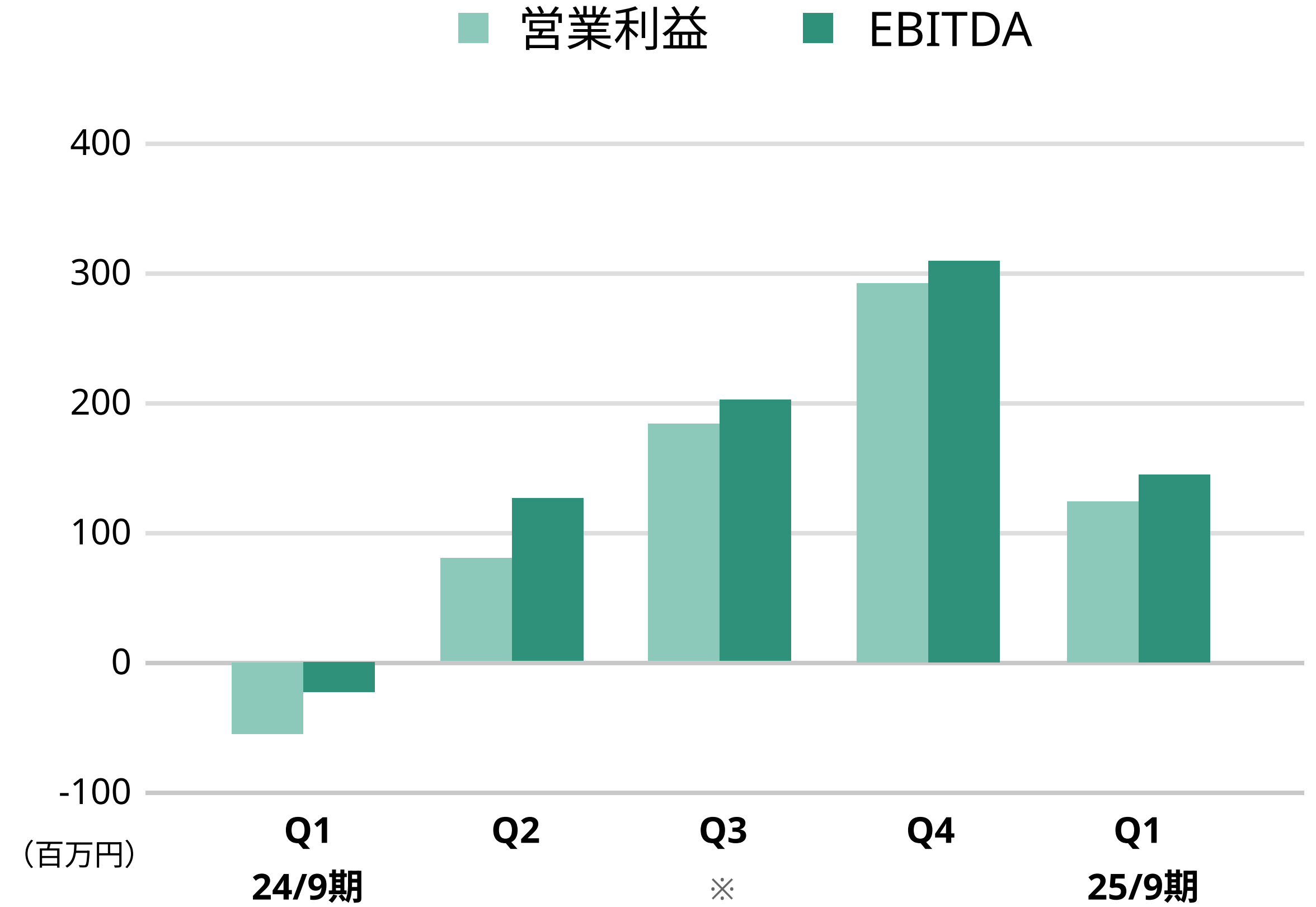
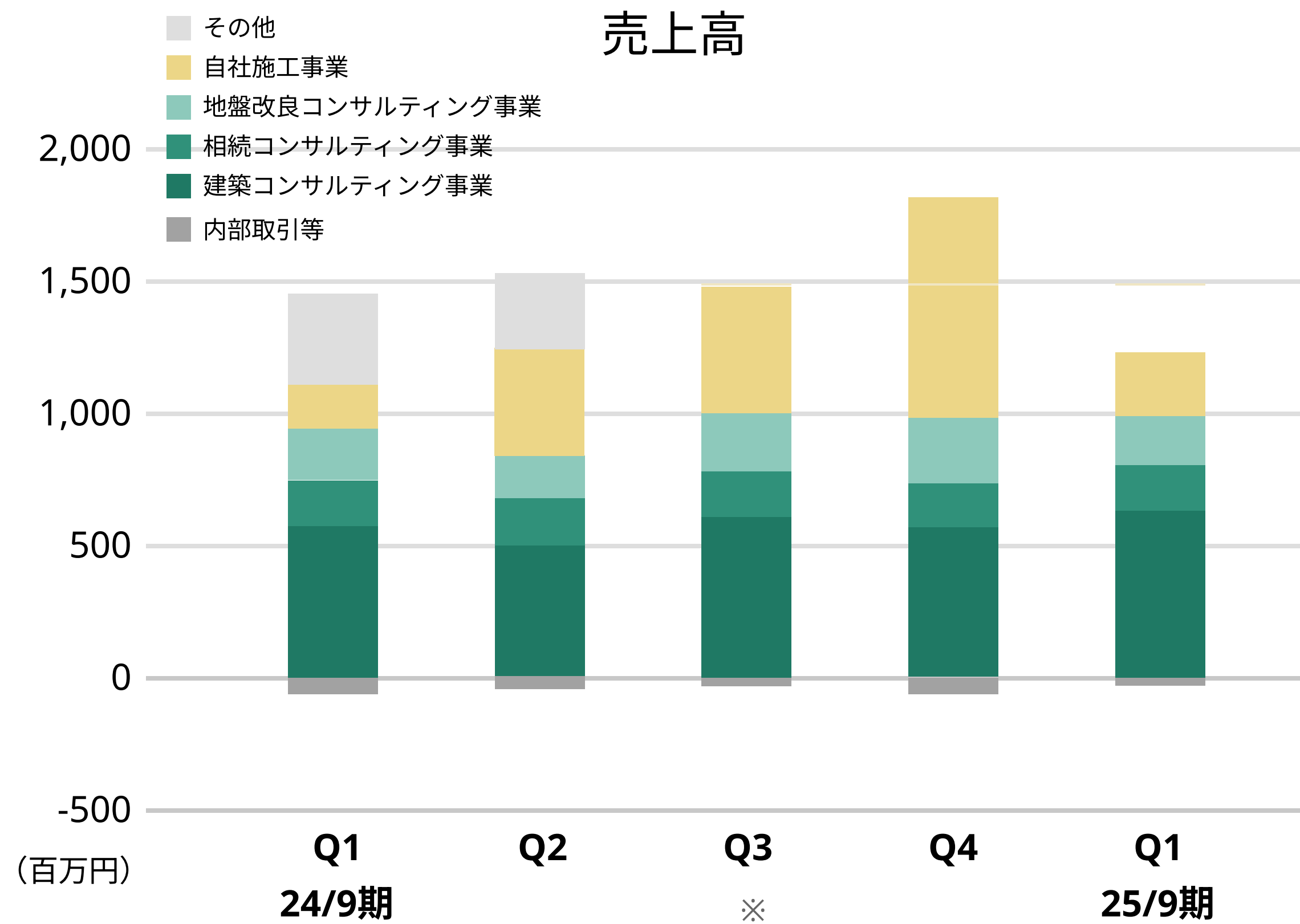
※ 総務省「経済センサス」、各業態の協会による公表値、その他調査会社による公表値等を基に当社集計。

ライフイベント事業



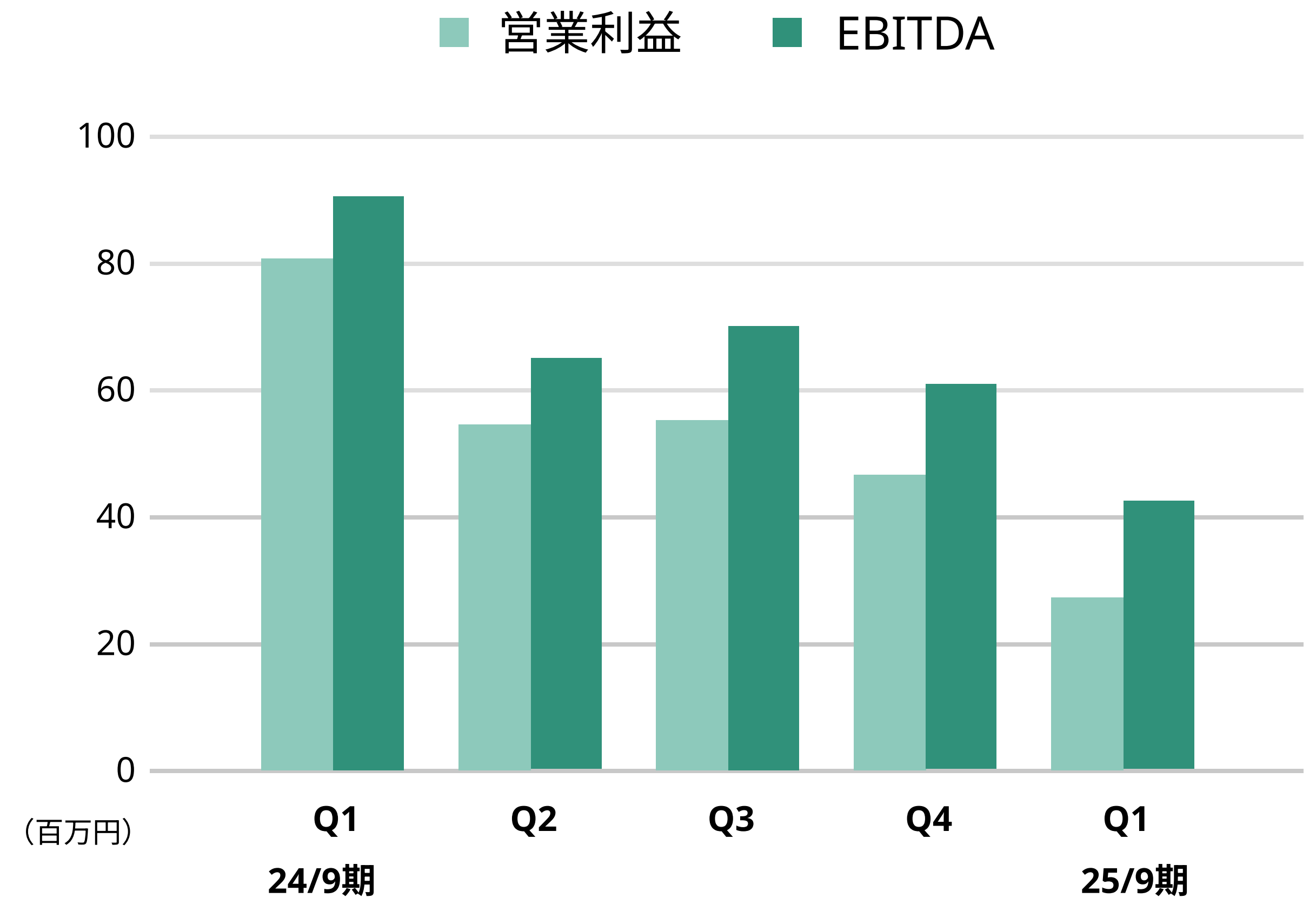
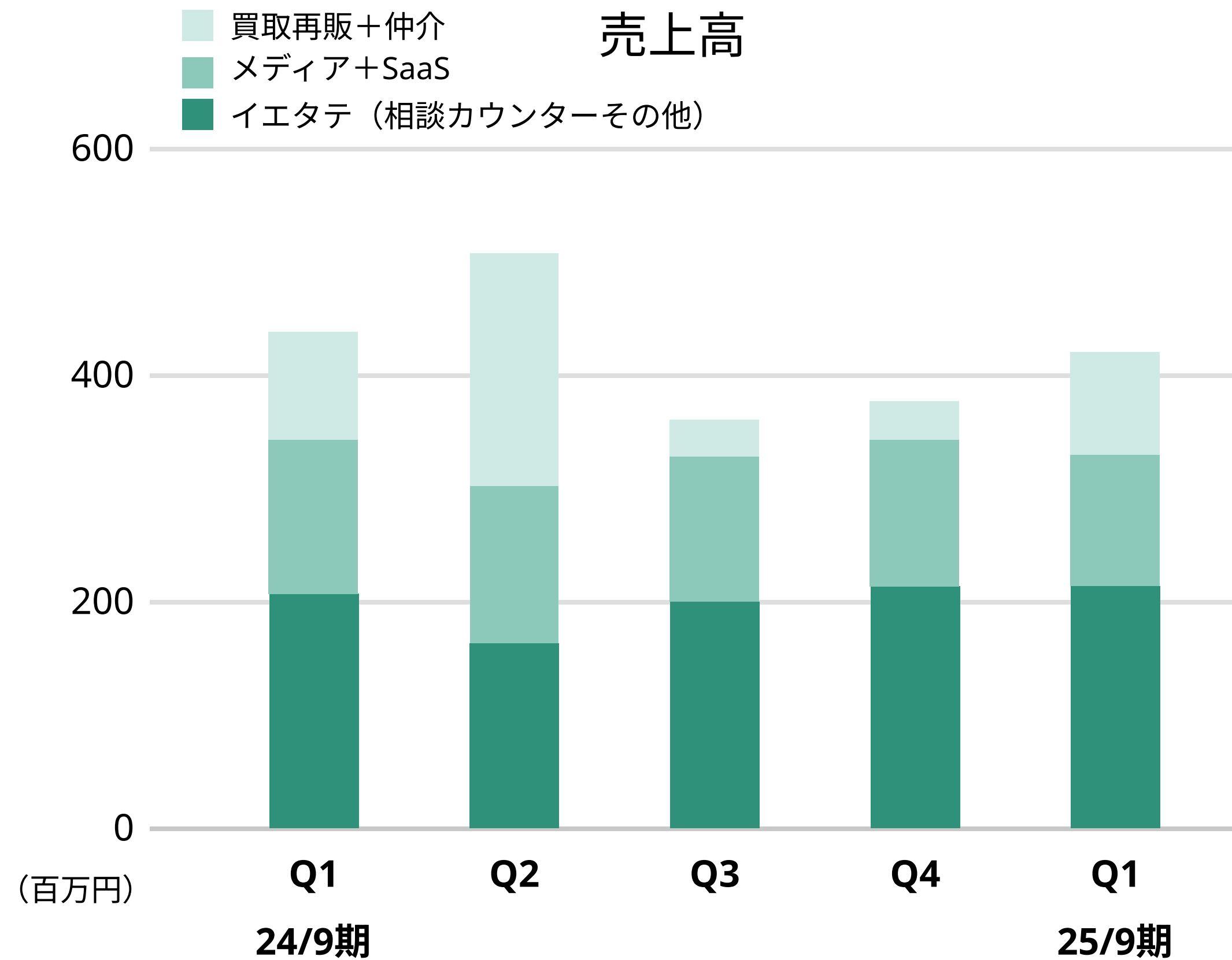
住まい領域（くふう住まいコンサルティング） 連結業績 四半期推移

- 主力の建築コンサルティング事業は工務店からのロイヤリティ収入等が前年同期比で増加、受注も堅調
- 前期は自社施工事業の納期遅延による下期偏重、不採算事業の整理等もあり今期は堅調な滑り出し



※ 2024年9月期 第3四半期連結会計期間より、株式譲渡に伴い OMソーラー(株) を連結から除外。

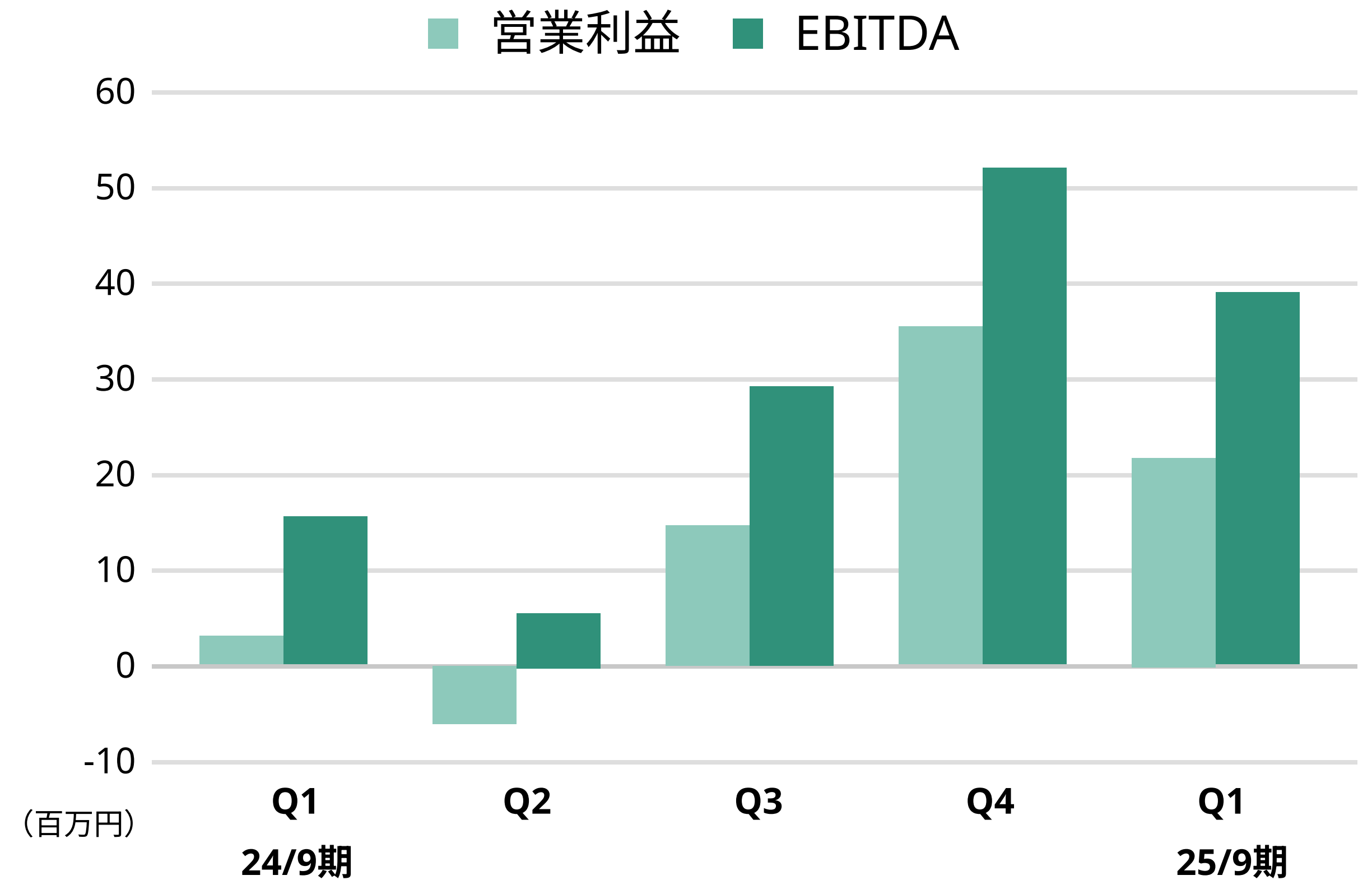
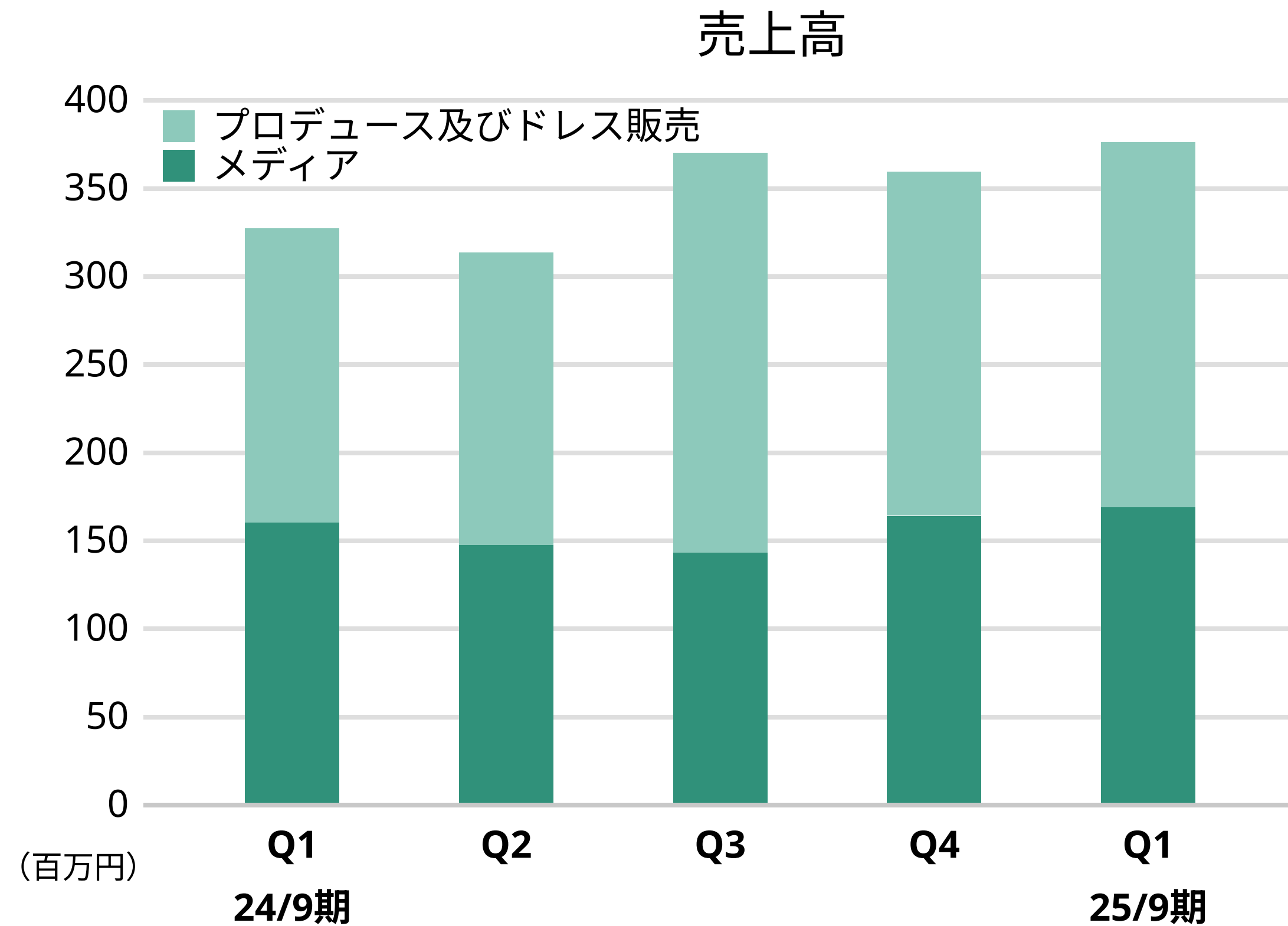
- 営業利益は大型仲介案件など複数の特殊要因が発生した前年同期に比べて減少、イエタテ事業の出店強化に伴い費用発生が先行（Q1は2店舗を出店、前年同期末から7店舗増加し合計13店舗に）



※ 2025年9月期より本社費用の配分方法を見直したことに伴い、各セグメント利益の計上方法を一部変更。2024年9月期は遡及修正後の数値を反映。

結婚領域 業績 四半期推移[※]

- メディア事業の市場環境は引き続き厳しいが、式場向けサービスの拡充により売上高は前年同期比で増加
- 結婚式プロデュース事業は施行件数・受注がともに堅調に推移し、領域での黒字が安定化



※ 2025年9月期より本社費用の配分方法を見直したことに伴い、各セグメント利益の計上方法を一部変更。2024年9月期は遡及修正後の数値を反映。

くふうカンパニーグループが提供する全ての事業において、
オンライン・オフラインのサービスをワンストップで提供し、

No.1のサービスへ

買い物 2年後に契約店舗数 & ユーザー数で圧倒的 No.1

住まい 4年後に住宅関連施工取扱い件数 No.1

結婚 4年後に結婚式取扱い件数 No.1

本資料の作成に当たり、当社は当社が入手可能な情報の正確性や完全性に依拠し、前提としていますが、その正確性あるいは完全性について、当社は何ら表明及び保証するものではありません。また、発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれている場合がありますが、これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社として、その達成を約束するものではありません。当該予想と実際の業績の間には、経済状況の変化や顧客のニーズ及びユーザーの嗜好の変化、他社との競争、法規制の変更等、今後のさまざまな要因によって、大きく差異が発生する可能性があります。なお、当社は、新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された将来の見通しを修正して公表する義務を負うものでもありません。

お問い合わせ

コーポレート・コミュニケーション部 IR担当

E-mail : ir@kufu.co.jp HP : <https://kufu.co.jp/>